

## 記事内容

- ☆平和行動in広島
- ☆平和行動in長崎 折り鶴献納・集計結果
- ☆最低賃金答申/埼玉県知事選挙結果
- ☆組合役員教育プログラム・スキルアップ/  
埼玉公務労協「7.14埼玉集会」
- ☆こくみん共済coop/9月の行動予定表
- ☆あけぼのビル

## 私たちは あの夏を 忘れない

## 2023平和行動 in 広島

8月4日(金)～6日(日)、「平和行動in広島」が開催され、連合埼玉からは13名が参加しました。初日は呉市にある「てつのかじら館」「大和ミュージアム」を視察。2日目は、午前中に折り鶴を献納した後、爆心地から最も近く大きな被害を受けた大川小学校内の平和資料館や平和記念公園内の原爆死没者慰霊碑、峠三吉詩碑などを視察しました。午後からは原爆投下時、市内で被爆したものの、現在でも使用されている路面電車に乗車し、連合広島青年委員会のガイダンスを受けながら市内の被爆地を車窓から視察しました。夕方

は、連合主催の「平和ヒロシマ集会」に参加し、被爆体験証言などを聞きました。最終日(8月6日)には、8時15分に犠牲になられた多くの方に黙祷を捧げました。1945年8月6日に落とされた1発の原爆により、広島は一瞬にして焼野原となり、78年経った今もなお、被曝の後遺症に悩んでいる人もいます。私たちは、これまでの運動を継承し、戦争の実相を次世代へ語り継ぐとともに、平和を願うすべての力を結集し、政府や国際社会に対し核兵器廃絶を強く訴えていきます。

## 日程

## in 広島

## 参加者

1日目(8/4) ■ピースウォーク①  
時間 15:30～18:00  
場所 呉市 てつのかじら館、大和ミュージアム

2日目(8/5) ■ピースウォーク②  
時間 9:15～12:00  
場所 平和公園、平和記念資料館  
本川町小学校平和資料館など

■被爆路面電車乗車学習会  
時間 13:00～15:00  
会場 広島駅～広島港～原爆ドーム前

■連合2023平和ヒロシマ集会  
時間 16:00～18:00  
会場 上野学園ホール

3日目(8/6) ■「原爆死没者慰霊式・平和祈念式」(広島市主催)  
時間 8:00～9:00

吉國美代子 (自動車総連/ソーシン労働組合)  
吉住 進吾 (自動車総連/デンソー三共労働組合)  
植松 努 (電機連合/プロテリアル労働組合桶川支部)  
真田 昌士 (電機連合/岩崎電気労働組合埼玉支部)  
海藤 雅之 (JAM埼玉/北川鉄工所労働組合大宮支部)  
歌 重郎 (川口・戸田・蕨地域協議会/日本アンテナ労働組合)  
佐藤 温夫 (県央地域協議会/パーソルR&D労働組合)  
若林 正州 (熊谷・深谷・寄居地域協議会/プロテリアル労働組合熊谷支部)  
田島 晴彦 (本庄・児玉郡市地域協議会/児玉郡市教職員組合)  
森田 直行 (秩父地域協議会/秩父石灰工業労働組合)  
齋藤 恵洋 (青年委員会/岩崎電気労働組合埼玉支部)  
深江 彩那 (女性委員会/全労済労組関東支部埼玉分会)  
小穴真一郎 (連合埼玉副事務局長)

①平和行動に参加したのは何回目ですか？

②感想

①初めて

②戦争については、幼い頃からメディアや学校教育等で知識はあったが、学ぶ事はないのではないかと思いつつ初めて広島に到着した。

呉のてつくじら館で「今でも平和とは言えない。隣国での戦争は決して他人事ではない。今も日本領海で掃海部隊が過去の機雷不発弾処理をしているが安全な作業ではない」と案内役の方から話を聞き78年前の戦争はまだ終わっていないと感じた。翌朝8時にサイレンが鳴り響く広島に、自然と涙が溢れ抑えきれない感情がこみ上げていた。決して繰り返してはいけない戦争。今の自分に何が出来るのかを考え、平和を求める声、平和行動は次世代に残していかなければいけない行動だと改めて思う3日間であった。



吉國美代子

①初めて

②平和行動に参加して、改めて戦争とは何なのかを考えさせられたイベントとなった。ピースウォークでは、科学技術の発展と戦争の狂気が結びついたことで迎えた最悪の凶行、原爆投下の被害について学んだ。たった一発で小型の太陽を生み出す爆弾を、人々が生活する都市の上空で爆発させる。鉄も溶かす超高温の熱線と爆風に晒され、住み慣れた街が一瞬で地獄絵図と化した。その中で亡くなられた方々の無念と、長い後遺症との闘いを強いられることとなった苦悩を想像しながら、どうか安らかにと『平和の灯』の前で合掌させて頂いた。当時の惨状を知らない世代となっても、この記録を共有し、核兵器は『最強の兵器』などではなく、『人類の敵』であると強く認識し、人類一丸となって核兵器廃絶を推進すべきと考える。



吉住進吾



参加者の皆さん



原爆ドーム



折り鶴献納

①初めて

②今までは、折り鶴献納をして平和行動へ参加しているつもりでいたが、実際に広島を訪れ、見るもの、聞くもの全てが戦争を知らない私にとっては衝撃的であり、お亡くなりになった方、今なお被爆の後遺症に苦しんでいる方々の事を想うと胸が苦しくなった。今回の平和行動への参加を機に、改めて核兵器の廃絶と平和な世界の実現、また恒久平和の実現に向け、微力ながら運動を展開していきたいと思っている。



植松努

①初めて

②テレビや教科書でのみ知っていた戦争や原爆について認識を改めさせられ、現場だからこそ感じるものが多くあった。特に語り部の方の話を聞き、当時の辛さ、犠牲になられた方たちの無念さを容易に想像することができ、今ある平和の有難さを噛みしめつつ、悲惨なことを引き起こした戦争・原爆の使用は二度と起こしてはいけないと強く思った。また、被爆者の平均年齢が80歳以上である中、当時のことを聞くことが難しくなっていると聞き、とても貴重な体験ができた。



眞田昌士

①2回目

②平和記念公園や平和記念資料館へは何度か訪れたことはあったが、改めて戦争や原子爆弾の悲惨さや、平和の尊さを学ぶ事ができた。また平和行動を通じて、参加者同士でどう感じたか意見交換ができたことも非常に良い経験となった。今回学んだことを糧に、これからもより一層戦争や平和について考え、小さなことでも私の役割を果たしていきたいと思った。



海藤雅之

①初めて

②平和ヒロシマ集会で、被爆者の方からのお話を直接聞ける機会をいただきました。お話を聞いているうちに当時の場面を疑似体験しているような状況になり、すごい恐さを覚えました。とても貴重な経験をさせていただいたとともに、もっとたくさんの方が被爆者の方のお話を聞くべきだと強く思いました。



歌重郎

## ①初めて

②平和行動に参加し、初めて原爆ドームを見た。写真や映像で見ると実物を見るのは全く別物。ドームの鉄骨だけでなく、その下に崩れ散らばった瓦礫も含め、その時の惨状を伝える情報そのもの。全ての物が語り掛けてくる様で圧倒的である。被爆から78年経ち、語り部が少なくなるように、残された建築物も老朽化が進んでいて、永遠ではありません。生の情報をいかに伝えていくことが大切であるかを改めて知ったように思う。



佐藤温夫

## ①初めて

②たった1発の原子爆弾が、一瞬にして街を破壊し多くの人の命を奪い、被爆者の身体と心に癒えることのない深い傷跡を残したことを改めて学んだ。いつ空襲を受けるかわからない不安な生活を送る中で、多くの人が突然の予期せぬ出来事に混乱し、それすらもできなかった人たちのことを思うと怒りと悲しみが同時に込み上げてきた。このような惨劇を二度と繰り返さないために、核兵器のない世界を目指して私たちに何ができるのか？一人では何もできませんが「ビリョクだけどもリョクじゃない」この気持ちをいつまでも持ち続けて平和の尊さを訴える行動を続けていかなければならないと強く思った。同時に、身近にあるたくさんの幸せを将来にわたって維持することも壊すことも私たちにはできると感じている。



若林正州



大和ミュージアム 戦艦「大和」



原爆投下の目標にされた相生橋



平和ヒロシマ集会

## ①2回目

②「てつのはらみ館」「大和ミュージアム」では、戦中戦後の軍港としての役割と海上自衛隊の活躍ぶりを学んだ。2日目はいよいよ広島市内。平和公園から本川小学校までの学習、被爆路面電車からの被災家屋紹介。3日目は記念式典ですが、テロ防止のため式典会場は一般客の出入りが禁止となり、テレビの映像を通しての視聴だった。酷暑の中での貴重な学習、平和を願う気持ちから平和を維持するための積極的な行動をしなければならないと強く感じた。地元埼玉でも平和を願う市民・労働者を増やし、核兵器無しの世界を作るため努力したい。



田島晴彦

## ①初めて

②メディア等画面の向こう側の存在であった原爆ドームを実際に目の当たりにし、原爆の恐ろしさ、戦争の恐ろしさを感じ取れました。78年経った今も当時の被爆者達の幼き心に大きな傷跡を残された事が伺えたのと同時に、後世にしっかりと伝えていかなければいけないと痛感しました。



森田直行

## ①2回目

②爆心地周辺の慰霊碑や原爆ドームなど原爆投下の当時を想像しながら視察した。中でも印象に残っているのが、平和記念資料館で見た原爆投下後の悲惨な写真や被爆者の遺品を目の当たりにして原爆の脅威を思い知らされた。遺品には一人ひとりの物語があったと思うと、とても胸が苦しくなった。如何に核兵器が非人道的で無責任なのだ。戦争や原爆によって被害に遭われた方々の人生を一瞬で奪った悲惨な事実を決して忘れることなく、後世へ語り継いでいくことが重要だと感じた。



齋藤恵洋

## ①2回目

②戦争や原爆が多くの人の生活を一瞬で変えてしまったことを痛感し、胸が痛む場面もたくさんあったが、現代でもなくならない戦争や紛争、核兵器の使用をほのめかす国がある現代の世の中で、唯一の被爆国である日本がこの出来事を決して忘れず、世界に発信し続けることは大変重要で意義深いものだと感じた。また、平和ヒロシマ集会にて、箕牧様より当時のお話を拝聴した。ご自身に降りかかった悲劇を話すには大変勇気がいると思うが、見たもの聞いたものをリアルにお話いただき、より一層戦争の惨さを痛感した。当時の経験をお話しして下さる語り部の方が年々減少している中で、後世の方へどのように語り継いでいくのか、私たちは今後考えていかなければいけないと思う。



深江彩那

「平和行動in長崎」の派遣中止

派遣中止・折鶴献納へのご理解・ご協力に感謝

連合埼玉は8月8日(火)～10日(木)に「平和行動in長崎」に10名を派遣するため準備をすすめてまいりました。しかしながら、台風6号の九州に接近に伴い、実施が危ぶまれる状況となりました。

6日(日)15時、連合本部から8日の「2023平和ナガサキ集会」は実施、9日のピースウォーク、万灯流しについては中止の上で、「2023平和ナガサキ集会」の参加可否は、各地方連合会に一任するとの考えが示されました。

連合本部の判断を踏まえ、連合埼玉として、「2023連合平和行動in長崎」については、参加者の安全や9日の行動の中止などを考慮して、派遣中止の判断としました。参加を予定していた皆様には、ご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。

また、本行動中に予定していた折鶴献納については、連合本部をつうじ19,700羽を爆心地公園に献納しました。世界の恒久平和に向け、引き続き連合埼玉は取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。



いただいた折鶴



爆心地公園に献納

昨年実績を上回る

2023連合埼玉平和行動「折鶴」集約結果

今年は12組織と3地協から、合計で955本・47,750羽の折鶴を送っていただき、昨年実績を大きく上回ることができました。お送りいただいた折鶴は、

沖縄・広島・長崎に献納することができました。ご協力いただいた皆様にご感謝申し上げます。

構成組織等名	本数	羽数
UAゼンセン	123	6,150
自動車総連	219	10,950
電機連合	79	3,950
JAM埼玉	67	3,350
JP労組	90	4,500
情報労連	30	1,500
電力総連	88	4,400
印刷労連	34	1,700
埼交連	10	500
JEC連合	20	1,000
連合埼玉女性委員会	27	1,350
連合埼玉事務局	25	1,250
<b>①小計</b>	<b>812</b>	<b>40,600</b>

地域協議会	本数	羽数
朝霞・東入間地協	52	2,600
比企地協	60	3,000
北埼玉地協	31	1,550
<b>②小計</b>	<b>143</b>	<b>7,150</b>

<b>合計(①+②)</b>	<b>955</b>	<b>47,750</b>
昨年実績	867	43,350

沖縄に献納	65	3,250
広島に献納	496	24,800
長崎に献納	394	19,700
<b>合計</b>	<b>955</b>	<b>47,750</b>

## 41円の引き上げが答申されました

## 令和5年度埼玉県最低賃金の改正決定について

埼玉地方最低賃金審議会は、本年7月5日(水)に埼玉労働局長から「埼玉県最低賃金の改正決定について」の諮問を受け、埼玉県最低賃金専門部会を設置し、調査審議をおこなってきました。今年の審議会では、7月28日(金)に中央最低賃金審議会より示された「令和5年度地域別最低賃金改定の目安に関する公益委員見解」などを踏まえ、公労使での真摯かつ慎重な審議の結果、8月7日(月)に埼玉労働局長に対し、埼玉県最低賃金額を41円引上げとなる「時間額1,028円」とする旨の答申をおこないました。

今回の41円引上げについては、上昇率が4.15%となり、過去最大の引上げ額となりました。

今後、諸手続きを経て本年10月1日より効力を発生する予定となっています。これで、埼玉を含め、8都府県が時給1,000円を超えることとなります。

また、8月2日(水)の審議会では、労働側から申出をおこなった5業種(非鉄、電子部品、輸送用機械器具、光学機械器具、自動車小売)の必要性審議がおこなわれ、「必要性あり」が答申されました。今後、9月に5業種の特定(産業別)最低賃金の専門部会が開催され、金額審議がおこなわれます。

## 【参考:埼玉県最低賃金額及び対前年度上昇率・上昇額】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
時間額	956円	987円	<b>1,028円</b>
対前年度上昇額	28円	31円	<b>41円</b>
対前年度上昇率	3.02%	3.24%	<b>4.15%</b>

## 埼玉県知事選挙

～組織の総力を結集し、推薦候補者の当選を勝ち取る～



埼玉県知事選挙は、7月20日(木)告示、8月6日(日)投開票の日程で執行されました。

今次選挙は、現職が圧勝との県民意識がある中、県民からは「政策の違いが見えない」「争点の見えない選挙」などとの声が多く聞かれた選挙戦でありました。

連合埼玉は、先に掲げた基本方針ならびに対応方針にもとづき、現職候補の推薦を決定し、構成組織や地域協議会などと連携し、推薦候補者の当選に向けて諸活動を展開しました。

## 【選挙結果】

◇埼玉県知事選挙(定数1名 立候補者3名)

**大野もとひろ 1,138,973票 当選**

○当日有権者数 6,077,006人  
 ○投票者数 1,443,765人  
 ○投票率 23.76%  
 (前回 32.31%)

結果としては、推薦候補者が次点候補者に大差をつけ、危なげなく再選を果たすことができました。

一方、投票率は、全国の知事選挙で歴代ワーストだった2011年の投票率を更に下回る結果であったことは今後課題を残す結果となりました。

改めて、この選挙戦に携わっていただきましたすべての皆様に、心より感謝・御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

## 組合役員教育プログラム・スキルアップ

## 全講座ともリアル開催で交流が深まる

組合役員教育プログラムのスキルアップ講座が7月5日(水)から26日(水)にかけて、あけぼのビル501会議室において開催されました。

スキルアップ講座は20年に新型コロナウイルスにより全講座中止となりましたが、21年はオンラインシステムによる一部開催、22年のオンライン併用による全開催を経て、本年は全講座ともリアル開催の運びとなりました。

6講座とも演習や実践を交えて進行しました。受講者や講師との意見交換や交流することで、熱気溢れる講義となり、本来の形で開催できたことで、充実した講座となりました。



大川講師



池上講師

開催日・時間	講座内容
7月5日(水) 14:00~18:00	プレゼンテーション (納得性を高める伝え方)
7月8日(土) 10:00~17:00	組合広報誌の作り方
7月12日(水) 14:00~18:00	組合役員のためのコミュニケーション力 開発②(アサーション)
7月15日(土) 10:00~17:00	組合役員のためのコミュニケーション力 開発③(コーチング)
7月22日(土) 10:00~17:00	会議の進め方② (ユニオンファシリテーション)
7月26日(水) 14:00~18:00	イベント企画の立て方とその運営

## 社会保障サービスを担う「人財」は重要

## 埼玉公務労協「良い社会をつくる公共サービスを考える7.14埼玉集会」



南保議長



佐保総合政策推進局長

埼玉公務労協は7月14日(金)、浦和コミュニティセンター多目的ホールにおいて、「良い社会をつくる公共サービスを考える7.14埼玉集会」を開催しました。参加者は構成組織・地域協議会・推薦議員に一般の方も加え、総勢131名となりました。

コロナ禍により住民の生活を支える公務公共サービスや、そこで働く労働者の必要性が認識されていることから、連合本部の佐保昌一総合政策推進局長を講師としてお迎えし、「安心・安全の社会保障」をテーマに講演をいただきました。

社会保障は国民の「安心」や生活の「安定」を支えるセーフティネットであり、その時代の社会情勢や経済、賃金、暮らしなどを背景に、セーフティネットの対象範囲・内容も変化します。

医療・介護・保育といった社会保障サービスを担う「人財」は大変重要で、機関や事業所で差はあるものの人財不足が続いており、安全・安心な質の高いサービスを提供するためには、担い手である従事者の賃金や労働環境の改善が必要です。

新型コロナウイルスの拡大により、医療や介護、保育の現場では細心の注意を払い、いままでおこなっていなかった様々な対応をしていましたが、賃金水準はその仕事に見合わないと言わざるを得ません。処遇改善に必要な負担を患者、利用者、被保険者などと分かち合い、サービスを維持向上させていかなければなりません。

本集会をつうじて、社会保障を担う人々の役割を改めて認識することができました。



会場の様子



会場の様子2

現在予定される9月の日程表です

9月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 金	連合青年委員会交流会(13:00~ 2日11:30・水戸市)	
2日 土	災害ボランティア救援隊隊員研修(中級)(13:00~17:00・ときわ会館)	
3日 日		
4日 月		
5日 火	①第10回四役・執行委員会(10:00~・13:00~・ときわ会館) ②第5回役員推せん委員会(12:20~・ときわ会館)	連合「防災セミナー」(14:00~16:45・WEB開催)
6日 水	組合役員教育プログラム・トライアルセミナー(13:30~・あけぼのビル)	埼玉労働局「特定最賃合同専門部会」(9:30~・埼玉労働局)
7日 木		東部地域協議会「第5回幹事会」(18:00~)
8日 金	平和行動in根室(〜10日・根室市)	①埼玉労福協「第3回地域労福協代表者会議」(13:30~・こくみん共済coop埼玉推進本部) ②埼玉労福協「第3回政策制度会議」(15:00~・こくみん共済coop埼玉推進本部)
9日 土	埼玉シニア連合「結成30周年記念 第10回ボウリング大会」(10:00~・浦和スプリングレーンズ)	電機連合埼玉「第61回定期大会」(14:00~・あけぼのビル)
10日 日		
11日 月		
12日 火	メンタルヘルス基礎編(13:30~・あけぼのビル)	UAゼンセン「第12回定期大会」(13:00~ 14日・東京国際フォーラム)
13日 水		朝霞・東入間地域協議会「幹事会」(18:30~・ピアザ富士見)
14日 木		
15日 金		①JAM北関東「第25回定期大会」(13:30~ 16日・ホテル木暮) ②熊谷・深谷・寄居地域協議会「第6回幹事会」(18:15~・ネット21熊谷)
16日 土		運輸労連埼玉県連「第56回定期大会」(13:30~・JACK大宮)
17日 日		
18日 月		
19日 火	女性委員会「女性のためのSTEPUPセミナー(上級編)」(13:30~・あけぼのビル)	
20日 水	第31回チャリティーゴルフ大会(高根カントリー倶楽部)	埼玉県生産性本部「特別シンポジウム」(14:00~・埼玉大学、WEB)
21日 木	①税理士9月度巡回監査(9:30~・連合埼玉会議室) ②2023年度埼玉県に対する政策・制度要請(10:00~・知事室) ③第4回拡大アドバイザー会議(14:00~・あけぼのビル) ④埼玉公務労協「第6回幹事会」(18:30~・県労評会館)	
22日 金	埼玉シニア連合「第4回四役会」「第6回幹事会」「第7回実行委員会」(13:30~・15:00~・あけぼのビル)	県央地域協議会「第8回幹事会」(18:30~・中央労金上尾支店)
23日 土		比企地域協議会「政策制度研修会」「幹事会」(13:00~・ポッシュ労働組合)
24日 日		
25日 月		連合関東ブロック「政策フォーラム」(15:00~・WEB開催)
26日 火		①電機連合埼玉地協「第28回チャリティーゴルフ大会」(東松山カントリークラブ) ②嵐山町議会議員選挙告示日
27日 水	第3回連帯活動委員会(10:00~・あけぼのビル)	
28日 木	第3回組合役員教育プログラム運営委員会(13:30~・あけぼのビル)	
29日 金	①第2回組織委員会(9:30~・あけぼのビル) ②女性委員会「体験学習」(11:00~・参議院議員会館) ③第4回ライフサポートステーション運営会議(15:00~・あけぼのビル)	①関東弁護士会定期弁護士会大会(10:00~・ロイヤルパインズホテル浦和) ②情報労連埼玉県協議会「第54回定期大会」(14:00~・あけぼのビル)
30日 土		比企地域協議会「第9回チャリティーゴルフ大会」(大麻生ゴルフ場)



「もしも」に備え  
「もしも」を防ぎ  
「もしも」に向き合う。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、  
皆さまとともに取り組んでいきます。



公式キャラクター  
ビットくん



たすけあいの輪をむすぶ



全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



### <はじめに>

9月を迎え、まだまだ暑い日も続いていますが、少しずつ「秋」を感じる季節を迎えつつあります。

多くの構成組織や加盟組合も大会時期を迎え、今年度の活動のふり返り、来年度の運動方針などを確認する時期でもあります。

この3年半にもおよぶ新型コロナウイルス感染拡大の影響は、デジタル化が加速し、テレワークなど多様な働き方も加速しました。

これまで、現場や職場で働くことが基本だった意識が、自宅だったり外出先だったり、ワーケーション(非日常の土地で仕事をおこなうこと)などの言葉も生まれたりしています。

労働組合の組合活動においても、同じ時間・同じ空間を共にする運動から、時間も場所も違う運動まで、組合員とのコミュニケーションのあり方への模索を続けている状況にあります。

このような状況の中で、各構成組織や加盟組合の「職場のコミュニケーション」について、働く仲間の気持ちに寄り沿い、多様な考え方を受けとめることなど、いくつかの視点から考えてみたい。

### <カウンセリング>

労働組合にとって、働く職場で起こる「不安」「不満」「不信」「怒り」などの働く仲間の気持ちを受けとめることが重要になります。

そのために、職場の横(同僚、部署間など)のコミュニケーションをつうじて、職場の組合員の声を聴くことが大切になります。

カウンセリング(傾聴)は、言葉だけでなく、表情、身体の動きなどの非言語的な部分も含めて、要素相手の話に注意深く耳を傾け、うなずきなどのリアクションも重要になります。

そのためには、相手の立場や気持ちに共感し、相手の気持ちを受け入れる姿勢を持ち、共感を示すことで信頼関係を築くことになります。

組合員との信頼関係の中で、組合員の不安や不満の原因・要因を理解し、職場で解決できる部分や課題として共有することなど、職場の改善につながるコミュニケーションとなります。

職場の改善につながるコミュニケーションを考えることで、テレワークなどの職場環境にも、状況に応じた対応ができることになります。

### <アンガーマネジメント>

職場の中では、忙しかったり、仕事が進まなかったりするとイライラする中で、ついカッとなることもあります。場合によっては、パワハラにつながるケースもあります。

アンガーマネジメントは、怒りやイライラといった感情を適切に理解し、コントロールするスキルと言われていません。怒り自体は自然な感情であり、組合員一人ひとり、怒りに変わる部分が違うことから個人によって大きく異なります。

したがって、怒りが暴力的な行動や対人関係の悪化を引き起こす前に、それを健全に対応できるようにすることは重要です。そのために、組合員一人ひとりが、自分自身の怒りのメカニズムを知ること、自分の感情を理解しやすくなります。

最近、メール、SNSなどのコミュニケーションツールにおいても、怒りの感情が文字で出ること、大きな問題となります。

労働組合として、アンガーマネジメント研修により、良好なコミュニケーションを促進する助けとなります。

### <アンコンシャス・バイアス>

職場の何気ない会話の中で、「うちの子どもの保育士は、とても子ども好きなんだよね」と聞いたとき、「保育士は女性」と思ってしまうことが、アンコンシャス・バイアス(無意識に生じる思い込み:以下UCB)の一つと言われています。

UCBは誰にでもあって、あること自体が問題というわけではありません。過去の経験や、見聞きしたことに影響を受けて、自然に培われていくものです。しかし、UCBに気づかずにいると、そこから生まれた言動が、知らず知らずのうちに、相手を傷つけたり、キャリアに影響をおよぼしたり、そのことで、職場のコミュニケーションに大きな影響を受けることにもなります。そのためにUCBの学習機会を設け、一人ひとりに、どのようなUCBがあるのかについて気付くことから始める必要があります。



埼玉県児玉郡神川町「金鑽神社」と「御獄山」

### <パワースポット>

埼玉県児玉郡神川町に県北でも屈指のパワースポットとしても有名な金鑽(かなさな)神社があります。背後の御室山を神体山として祀っていることから、本殿を持たない神社として特徴があります。参道脇から入ると御獄山(標高343m)の登山口があり、中腹にはパワースポットとして知られる鏡岩があります。片道30分ほどで登ることができる山なので、山頂近くは急な登りもありますが、気軽に登山も楽しめます。

労働組合の運動も、働く仲間の気持ちに寄り沿い、「怒り」や「思い込み」などを理解し、「傾聴」をつうじて共感することで、労働運動への参加も生まれてくるように思います。

ぜひ、パワースポットと思い込みながら、山登りをつうじて、英気を養ってみてはいかがでしょうか。

2023.8.18